



世界のソーシャル・カレンダー

[2016年冬 1月~3月]

文/中野香織

“超富裕階級”と呼ばれる人々は国籍にとらわれない共通の行動様式を有し、彼らが集まる場所には華やかな社交やビジネスチャンスが、では、超富裕階級による今の時代のリアルな社交は、世界のどこで繰り広げられているのでしょうか。

Text: KAORI NAKANO Realization: KAZUHIRO NONAKA

相思相愛の関係を築いた ファッションとアート

ファッションとアートが蜜月関係に入ったことを意識したのは、2008年あたりのことでした。ジョン・ガリアーノはクリムトの絵から、ドリス・ヴァン・ノッテはゴッホから、ドルチェ&ガッバーナはジャクソン・ポロックの絵からヒントを得たコレクションを発表しました。ガリアーノのアート愛は続き、翌年の春夏にはフェルメールやヴァン・ダイクの絵からヒントを得たコレクションを発表しています。

2009年にはピエール・ベルジェがイヴ・サンローランと50年間に集めた美術品を競売するという「世紀のオークション」が行われ、出品される数々の美術品が話題をふりまくと共に、3日間で486億円を超える、史上最高の売り上げを記録しました。

そのころから、「アーティスター(arty)」という新語も使われ始めます。インテリアや生活雑貨にまで、アート色の濃いクリエーターによる作品が目立つようになり、公共の場でインスタレーションを行う

「パブリックアート」も流行します。ホテルやレストランもアート化し、アートに囲まれるライフスタイルがおしゃれという感覚が、急速に広まっています。

2014年秋には、ルイ・ヴィトンがブローニウの森にフランク・ゲーリーが建築を手がけた「ルイ・ヴィトン財団美術館」をオープンし、LVMH会長のベルナール・アルノーがコレクションしたアートを展示しています。ケリンググループ会長のフランソワ・アンリ・ピノーもアートコレクターとして名を馳せ、デイオールも、シャネルも、プラダも、エルメスも、積極的にアートを支援し、アートを宣伝の一環として利用しています。ファッションとアートの融合にますます加速がかかっていることを実感します。

教養から解き放たれた 現代アートの存在

そんなアーティスターな時代において、見逃せない冬のイベントがアートフェア、なかでもファッション界からも多くの人々が訪れる、12月のアートバーゼル・マイアミビーチです。最も権威ある近・現代アートの

フェアであるアートバーゼルは、イスのバーゼルで6月に行われますが、国際的金融商品としての一面をもつアートの取引の機会を増やすべく、2002年からマイアミビーチでも開催されているのです。さらにアジア市場の需要に応えるべく、2013年からは香港にも進出。アートバーゼル香港は2016年3月に開催されます。

ダニエル・グラネ&カトリニス・ラムール著『巨大化する現代アート・ビジネス』によれば、アートフェアのある週のマイアミでは、「朝から夕方まで見学ツアーやパーティが開かれ、普段はまじめな美術館長までもが激しいロケットを踊り、最後はアーティストやギャラリストと一緒に、豪華ホテルのインフィニティプールに飛び込み、楽しそうに夜を終える。「商談がまとまるのはそうした場である」とのこと。

画商、ギャラリスト、美術館長、コレクター、ジャーナリスト、不動産や金融界の大御所、そしてクリエーターやファッション関係者らが集まり、マイアミの昼も夜も華やかに彩るアートフェア。ニューヨークタイムズが「もうひとつのファッションウィーク」と揶揄するのも理解でき

きます。どこか謎めいていて不透明なアートの世界では、アートの価格の設定やアーティストの売り出し方などにおいてネットワークによる力が働くことが多く、だからこそ同じ美意識をもつ人どうしのネットワークを広げ、その絆を確かにするために、社交生活が重要になってくるわけですね。

そんな狂騒も手伝い、現代アートの価格は高騰し、公共の美術館には手が出せないものとなり、富裕な個人によって集められていきます。しかし、多くのニューリッチにとって、アートの価値そのものよりも、ネットワーク内の人々による巧みなマーケティング戦略によって売

り出され、市場価値を高く上げたアーティストの作品を所有していることがステータスとなります。アートはかつて教養と結びついていたはずですが、歴史や聖書のことを知らなくても鑑賞できることが彼らにとっての現代アートの魅力となり、その価値をますます上げていくという皮肉。

このさらびやかで不可解で皮肉な光景そのものが、現代社会の一面を切り取るモダンアートにも見えてきます。

Calendar of Social Events

今月の参加すべきソーシャル・イベント

January 1月のイベント

- 世界経済フォーラム年次総会 / 1月20~23日 ダボス会議とも呼ばれる。政治家、ビジネスのキーパーソン、知識人らが3000名以上が集まる注目の国際会議。
<http://www.weforum.org/>
- ヴェネツィアのカーニバル / 1月23~2月9日 仮面の仮装でおなじみ。さまざまな舞踏会やガラパーティが由緒あるヴェネツィアのバラツォを舞台に催される。
<http://www.venice-carnival-italy.com/>
- アメリカ賞 / 1月31日 ヴァンセンヌ競馬場で催される競馬。馬につなげた二輪馬車に騎手が乗る驚異的速歩競走で、フランスにおける驚異的速歩競走の頂点とされる。
<http://www.prix-amerique.com/>

February 2月のイベント

- リオデジャネイロのカーニバル / 2月5~9日 メインのパレードは7日と8日の夜。そのほかにも期間中はホテルやナイトクラブ、街中でもイベントが目白押し。
<http://www.rio-carnival.net/>
- 第50回スーパーボウル / 2月7日 米国プロアメリカンフットボールリーグNFLの優勝決定戦。記念年である今回はカリフォルニア州サンタクララのリーバイス・スタジアムで開催。
<http://www.sfbayssuperbowl.com/>
- 第88回アカデミー賞 / 2月28日 言わずと知れた映画の祭典。授賞式はハリウッドのドルビーシアターで開催。今回は第77回以来2度目となる、クリス・ロックが司会を務める。
<http://www.oscars.org/>

March 3月のイベント

- WGCキャデラック選手権 / 3月3~6日 世界ゴルフ選手権の第1戦として米国フロリダ州ドルのドル・ゴルフリゾート&スパで開催。
<http://www.worldgolfchampionships.com/cadillac-championship.html>
- アートバーゼル香港 / 3月22~26日 世界最大のアートフェアのアジア版。22日と23日は招待客のみのプライベートビュー、24日以降が一般客への公開となる。
<https://www.artbasel.com/hong-kong/>
- ドバイ・ワールドカップ(競馬) / 3月26日 メイダン競馬場で開催される世界最高賞金のレース。当日は6つのG1レースが行われる豪華イベントで、ドバイミーティングの別称も。
<http://www.dubaiworldcup.com/>

Column 中野香織のビューポイント

「エフォートレス」の罫

今シーズンのモードが提案するキーワードのひとつに「エフォートレス」がある。頑張りすぎない、肩の力を抜いたさりげなさが格好いいという空気を伝える心地よい言葉ではあるが、「頑張りなくいい」と早とちりして手を抜くと、痛い目に遭いそう。

「エフォートレス」は、西洋的なエレガンスの伝統の王道に脈々と流れる「スプレッツァトゥーラ」という美意識の延長にあると考えたい。15世紀イタリアのカスティリオーネの「宮廷人」に出てくる言葉で、「さりげなさ」という意味だが、「あらゆる技巧を凝らしたうえに獲得された無頓着、さりげな

りげなさの技」というのがスプレッツァトゥーラの真意。これを修得することが宮廷人にとってのマナーとされた。

美しく見せるための最大限の努力をし、さらに一歩進んで、いかなる努力の痕跡も見せない配慮をして、ノンシャランに気楽にふるまう。それが大人の社交の流儀でありマナーであったし、今シーズンの「エフォートレス」の真骨頂もそこにある。努力を放棄した手抜きのままに出ていくのと、学びと研鑽の果てにそぎ落とされた好ましい脱力感で人に接するのでは、大きな違いが生まれて当然である。エレガンスへの道は厳しい。

Kaori Nakano

なかの・かおり ●エッセイスト、服飾史家。東京大学大学院修了。英国ケンブリッジ大学客員研究員を経て文筆家。過去2000年分のファッション史から最新モード事情まで、幅広い視野から研究、執筆、レクチャーを行う。2008年より、明治大学 国際日本学部 特任教授を務めている。著書に『モードとエロスと資本』ほか多数。
●中野香織オフィシャルHP
<http://www.kaori-nakano.com/>